



一般財団法人
徳島県遺族会

会報

発行所
徳島市雑賀町
東開21番地 1
一般財団法人
徳島県遺族会
TEL (088) 636-3212
FAX (088) 636-3213
<http://izokukai.jp/>
発行責任者
坂千代 克彦
印刷
グランド印刷㈱

明けましておめでとうございます



一般財団法人徳島県遺族会会長 坂千代 克彦



新春を迎え、ご遺族の皆様におかれては、健やかに過ごされたいと心より願ひ申し上げます。日頃より徳島県遺族会に対し、格別のご支援とご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます。

昨年六月、本会がちょうど七十年を迎えた節目の年に、本会の会長を引き継ぎ、その大役に身を引き締まる思いでございました。それは、増矢前会長をはじめ諸先輩方が築かれた歴史ある崇高な遺族会の重みを感じるとともに、コロナ禍によって大半の行事が実施でき

ていない中、「いかに事業を復活できるか」、「これまでより一歩でもいい、前進できないか」という課題に向き合うことでもありました。

そのため、私は会長就任にあたって、まずは自らの足元も固めるため、五つの柱を考えております。それは「英霊の顕彰」「遺族の処遇改善」「組織の継承」「戦没者記念館の活動促進」「次世代への語り継ぎ」であります。

これら五つの方針を総合的に事業化するために、会員の皆様の深いご理解と、大きなご協力をいただき、ワクチン接種が進む昨夏以降、出来ることからではあります。諸行事の再開が叶いました。ありがとうございます。もちろん、県内各地区

の遺族会におかれては、本会に先立ち、戦没者追悼式、慰霊祭等を再開されておられ、その取り組みに深く敬意を表するところであります。

本会において、会員のご協力により、感染症対策を取りながら行った事業として、昨年八月の「徳島県戦没者追悼式（郷土文化会館）」、十月以降の「中学校等の平和学習、修学旅行（戦没者記念館）」、十一月には「女性部の代名詞『千羽づる』の岡山縣護國神社への奉納（会員への助成も行い、予想を超える参加者）」、十二月の「政府与党への処遇改善要望」など、幸いなことに、事業の実施が広がってきております。

さらに、本年一月からは、ほぼ二年にわたり休

止しておりました毎月第二土曜日の「語り部」事業を開催いたします。今後、この「語り部」事業は、御母とともに苦労された遺児に語っていただく機会も増やし、息の長い事業となることを望んでいます。

海外慰霊巡拝は年明け早々に再開という訳には参りませんが、「二月二十五日の研修会」をはじめ各種研修や、「三月二十七日から二十八日の春の靖國神社参拝」等も催行いたしますので、お誘い合わせの上ご参加いただければと思います。

また、昨年三月に発刊しました本会の「七十周年記念誌（あしたへⅡ）」につきましても、是非ご高覧を賜り、御英霊に思いをはせる機会としていただきたいと思います。

そして、今後最大の課題であります「後継者」問題については、昨夏以降、青年部の動きが右肩上がりであり、それは、例えば護國神社例大祭の運営、県外旅行への参加、記念館事業の企画など青年部の自発的な活動であり、青年部メンバーの連帯の輪が出来つつあります。本会としても青年部活動のバック

アップ体制を敷き、次世代へ向けての取り組みを強化して参りたいと考えております。

今後とも、本会は一致団結し、我が国の繁栄と安泰を念じつつ散華された御英霊に對しまして改めて尊崇の誠を捧げ、英霊の顕彰と遺族福祉の向上を進めるとともに、戦争の事実と平和の尊さを語り継いでいく活動を進めて参ります。

ご遺族の皆様におかれては、引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、令和四年の干支「壬寅（みずえのとら）」は、「陽氣を孕み、春の胎動を助く（春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年）」という意味であります。ご遺族の皆様にとりまして、本年がより良き年でありますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

謹賀新年 令和四年元旦

徳島県遺族会

会長 坂千代 克彦
副会長 上浦 喜代志

名譽会長 増 演
理事 井 上 晃
緒 方 和 子
杉 本 敏 則
上 田 哲 夫
古 林 勢 一郎
赤 瀬 敏 幸
神 野 武 重
山 本 健 司
後 藤 重 喜
稲 原 一 生
尾 形 信 之
小 笠 厚 子
佐 々 木 功
山 本 孝 肇
谷 川 高 雄
亀 代 高 男
白 川 一 潔
高 木 一 永
山 口 博 視
福 良 敏 昭
大 平 敏 之
武 田 光 普
森 吉 雅 史
事務局職員一同

徳島県護国神社

宮司 坂田 敏郎

新年のご挨拶

参議院情報監視審査会会長
一般財団法人日本遺族会会長
参議院議員

水落敏栄



ご遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。

今秋、日本遺族会(以下日遺)創立七十五周年を迎えるにあたり、改めて本会の活動を支えた多くの先達に敬意と感謝を新たにしています。

昭和二十二年前身である日本遺族厚生連盟結成以来、「二度と私たちのような遺族を出してはいけない」という固い決意のもと、英霊の顕彰と遺族の福祉向上を求め活動を続け、逐年処遇は改善されました。ひたすら恒久平和を希求する本会の活動が認められた故であり、その最たるものが、旧軍人会館を遺族の福祉向上のため日遺に無償で貸与するとした「(通称)遺族会国有財産無償貸与法」(昭和二十八年成立閣法)です。

遺族への処遇が絶たれたままの昭和二十六年当時、手弁当で活動を続ける遺族会が、本部拠点として旧軍人会館の購入を検討するも、あまりの高額に暗礁に乗り上げたところ、星島一郎代議士(犬養毅法相秘書を経て、後の衆議院議長)を中心とする政財官の方々の熱意が内閣を動かし、閣法として成立したものです。

東日本大震災による痛ましい事故により九段会館が廃業し、再び本部拠点であり、遺族の殿堂を失いかけた矢先、本会を思う有志の議員が「遺族会国有財産無償貸与法」の改正を提案し、同地に新しく建設される建物の一部を本会が無償で貸与できるよう尽力してくださいました。

いち民間団体に国が無償で建物を貸与することは非常に稀で、加えて施行から六十年余が経過し、改正案に反対が出なかったことも驚きであり、偏に本会の活動が党派を超え評価を得ている所以であります。

今夏に完成する地下三階地上十七階の新しい建物は、帝冠様式を配した九段会館の外観を残し、四階部分の特定施設を国から無償貸与されます。次世代へ平和を語り継ぐためどのように利用していくか本会に問われています。

新型コロナウイルスの世界的蔓延により、制限がかかる暮らしの中で、日常の大切さを感じた人も多いと思います。すなわち今日の自由で平和な社会は、先の大戦で祖国の安寧と家族の幸せを願う散華された多くの犠牲の上に、ひたすら平和な社会を求めた先人のたゆまぬ努力によって築かれています。この歴史を後世に伝え、恒久平和な社会の構築に寄与することが本会の社会的責務です。

先月日本遺族政治連盟は緊急で常任理事・監事合同会議を開催し、今夏参院選の遺族会代表として、元内閣府特命大臣をお務めになった福井昭氏を決定しました。福井氏は遺族ではありません。しかし遺族の代弁者として、遺族の声を国政に届ける覚悟を固めています。

戦後七十六年が経過し、戦後生まれが九割、遺児の平均年齢も八十歳を超え、時間に余裕はありません。だからこそ今、遺族にかかわらず、本会の活動を理解する同士に加わってもらうことが大切です。

私は、遺族のため国政に立たれた先輩議員から託されたバトンを福井氏に繋ぐことが、遺族会を次世代に継承する唯一の方法と信じ、福井氏を国政に送るべく、先頭に立って粉砕身尽力いたしますので、皆様には、ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

第七十六回全国戦没者遺族大会開催

令和三年十二月十三日(月) 東京都千代田区永田町にある自由民主党館において全国の遺族代表二百十八名が参集し、第七十六回全国戦没者遺族大会が開催された。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、例年の半数程度の参列者で開催することとされ、本会からは坂千代会長、上浦副会長、木下副会長の三名が代表して参列した。

会議は、午後一時に開会し、日本遺族会宇田川副会長の開会の辞に続き、国歌斉唱、御英霊への黙祷の後、



水落会長が挨拶を行った。次に来賓として、田畑裕明総務副大臣等から挨拶があった。その後、市来副会長が議長に選任され議事を進行し、江田肇常務理事による意見発表の後、宣言(案)、決議(案)が発表され満場一致を持って採択された。

なお、大会決議は次のとおりである。

決議

一、総理、閣僚及び国会議員等の靖国神社参拝の定着をはかること。

一、戦没者遺族に対する処遇は、国家補償の理念に基づき改善すること。

一、特別弔慰金は、生計関係を受給要件としないよう改善すること。

一、慰霊友好親善事業の充実と遺骨収集事業の拡充強化をはかること。

一、海外及び国内の民間建立慰霊碑を適切に維持管理すること。

一、平和の尊さを次世代に語り継ぐ「青年部」の育成を積極的に推進すること。

大会終了後、本会役員は国会に赴き、県選出国会議員等に面会し、本会の要望事項に対する理解と協力を求める陳情を行った。

お慶び

秋の叙勲 旭日単光章

令和3年11月3日 受章

徳島県遺族会 副会長
阿南市遺族連合会 会長

池添哲哉氏



厚生労働大臣表彰

令和3年12月7日 受賞

徳島県遺族会 評議員
三好遺族連合会 理事

山下善美氏



徳島県遺族会 前副会長
石井町遺族連合会 会長

萩原一徳氏



徳島県遺族会 評議員
板野郡遺族連合会 理事

松田保治氏



多年にわたり遺族会の発展と、会員の福祉の向上にご貢献をいただきました。
心よりお慶びとお礼を申し上げます。

岡山県護国神社参拝と千羽づる奉納事業の実施

令和三年十一月二十日（土）、県遺族会として今年度から始めました事業「全国護国神社等参拝・千羽づる奉納事業」におきまして、最初の参拝地として選ばれました「岡山県護国神社」及び「岡山平和祈念館」を訪ねました。
当日は、坂千代克彦会



長を団長といたしました四十一名が、大型バス二台を利用し、徳島県護国神社及び池田町内バス停の二か所から出発、秋晴れの素晴らしいお天気に恵まれた中、岡山県の郷土料理を満喫し、倉敷美観地区を散策した後、今回の事業の目的となる「岡山県護国神社参拝」並びに「岡山平和祈念館」での千羽づる奉納を行いました。
「岡山県護国神社」では、参拝に先立ち、



坂千代団長から護国神社に対し千羽づるを奉納いたしました。その後、神事では、団を代表し、坂千代会長、濱女性部長、山本青年部長、林副会長がそれぞれ玉串を奉奠し、国家と公共に尽くされた英霊に崇敬と感謝を捧げるとともに、祖国の繁栄と平和、人々の幸福をお願いいたしました。
次に「岡山平和祈念館」を訪れ、濱女性部長より祈念館に対し「千羽づる」を奉納、「徳島県戦没者記念館あしたへ」を参考に作られたという祈念館を見学し、今回の事業を無事に終了することができました。
来年度以降も、会員の方をはじめ多くの方が参加しやすい事業として進めてまいりたいと考えています。
会員以外の方にもお声がけいただき、多くの方のご参加をお待ちしております。

東みよし町立三好中学校二年生修学旅行で記念館来館



東みよし町立三好中学校の二年生の生徒と引率の先生を含め総勢四十四名が、十一月一日（月）、修学旅行の平和学習の一環として「徳島県戦没者記念館」に来館しました。先の大戦をはじめ、平和や命の大切さについて考えるための学習として計画されたものです。
来館前に学校で当館のDVDを活用した事前学習を行い、当館に来館し、平和の尊さや戦争の悲惨さを展示パネル・遺品などで学びました。
始めに、参集殿にて生徒たちが平和への願いを込めて折った千羽づるを記念館に奉納し、『もうひとつの沖繩戦記』のDVDを上映し、沖繩戦の当時の悲惨な映像を真剣に見入っていました。体験談を同じ世代の子どもたちが朗読しており、生徒たちの胸にも響いたようでした。
その後、記念館に移動し、八千名を超える英霊の遺影の多さと、自分達とさほど年齢の変わらない戦没者が数多くいらつしやることを知り、驚きを隠せない表情でした。また、遺品・遺書などを見て質問したり、メモを取ったりと熱心に見学していました。
後日、「沖繩戦のDVDを見て、こんなに悲惨だと初めて知りまし

た。米軍が沖繩に上陸すると家族で自決することかとても心が痛かったです。」「DVDでも僕と同じ年の子どもたちが戦争に行っていたと聞いて、とても悲しくなり、もっと生きたかったんだろな」と思いました。」「亡くなった人の多くは若い人で、中にはまだ十代の人もいて、心が痛くなりました。東みよし町でも多くの方が戦場に行き、亡くなっていました。改めて戦争は怖いなと思いました。」「私はテレビなどで戦争の特集をしていても、自分には関係の無い遠い過去のことだと思っていました。ですが今回学習して戦争の恐ろしさをこの先ずっと伝えていかなければならいと思いました。」「自分が今、当たり前のようにご飯も食べて、お風呂にも毎日入れて、学校に行って勉強をして、今の生活がどれだけ幸せな暮らしをしているのかを、この学習を通して実感させられました。」「戦争で命を奪われた人たちの写真、写真の代わりに展示された桜の写真が地域ごとに沢山並んでおり、思わず涙が出そうになりました。」「等の感想を頂きました。
今回の平和学習で学んだことを基に、より一層理解を深め、修学旅行ではさらに一歩進んで、戦争と平和について自ら考えるきっかけとなることを期待いたします。



地方だより



北島町遺族会

令和三年度の「北島町戦没者追悼式」が、十一月六日(土)午前十時より、中央公園の戦没者供養塔の前において、昨年と同様に新型コロナウイルス感染防止対策として仮設テントを設け行われました。

今年は、古川北島町長及び栗田社会福祉課長以下担当の職員に加えて、天羽教育長と北島中学校及び北島小学校の児童生徒の皆さん各三名が、各々の学校長に引率されて参加されました。北島町遺族会は松田顧問、西会長など役員八名が来賓として参列しました。

式典は拝礼、黙祷に続き、古川町長の式辞、参列者全員の献花がおごそかに行われましたが、英霊のご冥福と平和の継承の祈りに加えて、児童生徒の参列により教育現場での平和教育の充実が実感される意義深い厳粛な追悼式となりました。

令和三年度 北島町戦没者追悼式挙行



那賀町ではこれまで町内五地区で戦没者慰霊祭を斎行してきました。かねてより要望をしておりました「那賀町戦没者追悼式」が令和元年五月に初めて町行政主導のもと開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止となりましたが、今年度は規模を縮小し令和三年十一月十七日に開催され、那賀町長坂口様・徳島県遺族会会長坂千代様・那賀町議会副議長田村様より追悼のことばを賜りました。各地区五名の遺族参加と最小限の人数で行いましたが、心を込めて献花を捧げ、私たち遺族は戦没者への哀悼の意と平和の尊さを後世に伝える役目を改めて認識しました。最後に那賀町遺族連合会亀代会長が謝辞を述べて追悼式を終えました。追悼式にかかわった全ての方に感謝申し上げます。

那賀町遺族会連合会

令和三年度 那賀町戦没者追悼式

吉野川市では、平成二十二年度において市遺族連合会が市長及び関係機関に対し、児童・生徒の平和教育の一環として、市内中学生の市戦没者追悼式への参列を要望し、平成二十三年度から毎年市内中学生が参列している。

令和三年度については、令和三年十一月二十日(土)に行われた市戦没者追悼式に市内中学生十名(市内五校・市立中学校四十・県立中学校二)が参列し、生徒代表が誓いの言葉を述べた。

開催場所・吉野川市アメニティセンター

参列者数・約百五十名

誓いの言葉

世界から戦争をなくしたい。私たちは平和学習を通して、戦争の悲惨さを知り、その思いを強く抱きました。市民の命が失われた沖縄戦。多くの人の命を瞬で奪った広島原子爆弾。戦争で犠牲になった人々の思いに触れる度、私は、言葉にできないほど辛く苦しい気持ちになりました。

その一方で、私たちは勉強に部活動に何となく日常生活を送っています。この当たり前の平和のために、当時の人々の血のにじむような努力がありました。心の底から平和を願う心。焼け野原から生まれた新たな命。戦争のない世界の実現を、後世の人々に託そうとした思いが集まって、今の平和があることを、私たちは決して忘れてはいけません。

しかし、世界に目を向けてみると、まだまだ平和とは言えないのも事実です。新聞やニュースに触れるたび、戦時中の日本のように、争いによって悲しい思いをしている人々の様子が目に飛び込んできます。

私は、世界から戦争をなくしたい。戦争で犠牲になった人々の思いを受け継ぎ、終戦後の日本から立ち上がった人々と同じように、私たちも平和のバトンを受け継ぎ、後世に伝えていくことが使命です。これからも戦争と平和について学びつづけて日本と世界が二度と戦争に巻き込まれることのない、真の平和の実現を願い、精一杯生きていくことを誓います。

令和三年十一月二十日

生徒代表 徳島県立川島中学校 早雲 奨真



令和三年度 吉野川市戦没者追悼式

ホームページ随時更新中!!

アクセス数 119,310

(令和3年12月28日現在)

各種行事、記念館の語り部事業、慰霊巡拝等の最新の情報をお知らせしています。

携帯・パソコンで **徳島県遺族会** もしくは **徳島県戦没者記念館** と入力

ホームページのアドレス URL <http://izokukai.jp/>

携帯電話のバーコードリーダーで右記QRコードを読み込んで下さい。



～徳島県戦没者記念館 第12回 特別企画展～

井戸も掘る医者

ペシャワール会の医療活動・緑の大地計画



ペシャワール会が行なっている、砂漠化した農地を回復し、難民の方々等の慢性の食料不足や栄養失調を少なくするための活動を紹介することで、戦争や紛争等により発生する事実と平和の尊さについて、一人でも多くの方々に学んでいただくための一助となることを目的とし、開催いたします。



令和4年
1/14(金) ▶ 23(日)
平日/9:00~16:30 土・日・祝日/10:00~16:30
場所 徳島県戦没者記念館 あしたへ
徳島市雑賀町東開21-1 電話 088-636-3212 FAX 088-636-3213
<http://izokukai.jp>
入場無料

展示内容 ■ペシャワール会の活動を紹介するDVD上映、パネル展示、パンフレット配布など



主催・協力 / 一般財団法人徳島県遺族会
徳島県戦没者記念館奉賛会
ペシャワール会
立命館大学国際平和ミュージアム

徳島県戦没者記念館 第十二回 特別企画展
井戸も掘る医者
ペシャワール会の医療活動・緑の大地計画
ペシャワール会が行っている活動を紹介することで、戦争等により発生する事実と平和の尊さについて、考えて頂くために開催致します。
会員の皆様など、多数の方のご来館をお待ちしております。

靖国神社参拝団募集

実施日／令和4年**3月27日(日)**
～**3月28日(月)**

主な観光地 東京都内(靖国神社団体参拝、東京大空襲・戦災資料センター)、箱根神社、芦ノ湖遊覧、鶴岡八幡宮など

旅行代金 68,000円

募集人員 45名(最少催行人員25名)

締切期日 令和4年1月21日(金)
※ただし、満員になり次第締め切ります。

お申込先 〒770-8021
徳島市雑賀町東開21-1(護国神社内)
徳島県遺族会事務局

(TEL 088-636-3212)

日付	行程	宿泊
1 3/27(日)	徳島空港 9:15 JAL454 羽田空港 10:25/11:05 記念撮影後、ご参拝 靖国神社(昇殿参拝・遊就館見学・昼食) 11:45 14:20 千羽づる奉納後、館内見学 東京大空襲・戦災資料センター 15:00 16:00 ご夕食はホテルにて 箱根湯本温泉(泊) 17:25	(箱根湯本温泉) 箱根パークス吉野
2 3/28(月)	関東屈指のパワースポット 桃源台～箱根町 ホテル～箱根神社 8:20 8:50 9:30 9:50/10:10 10:45 箱根関所を完全復元 昼食 箱根関所跡資料館～箱根町 10:50 11:40 11:45 12:40 鎌倉のシンボル鶴岡八幡宮と、賑やかな小町通り見学 鎌倉・鶴岡八幡宮、小町通り散策 14:15 15:45 お弁当 羽田空港 17:00/18:25 JAL463 徳島空港 19:40	

※上記は令和3年10月8日現在の行程となっております。交通機関の都合等により、時間・コースは変更になる場合があります。
※新型コロナウイルス感染症拡大の状況、今後の社会情勢等により、実施内容の変更や中止になる場合もございます。あらかじめご了承ください。

語り部事業を再開いたします

語り部事業のご案内

- 第66回 1月8日(土)「戦後、母と過ごした遺児の人生」 上 浦 喜代志氏 (80) (徳島市)
- 第67回 2月12日(土) (第1部)「父の出征と留守家族」 高 島 英 生氏 (83) (海部郡)
- (第2部)「美波町に於ける空襲の記録」

*徳島県戦没者記念館にて毎月第2土曜日開催 (13:30 ~ 14:30)
携帯電話のバーコードリーダーで右のQRコードを読み込んで下さい。



【厚生労働省からのお知らせ】
戦没者遺骨のDNA鑑定の対象地域を拡大し、
令和3年10月1日より申請受付中

厚生労働省はDNA鑑定により戦没者遺骨の身元を特定
してご遺族のもとへご遺骨を返還する事業を行っていま
す。

これまで実施してきた沖縄、硫黄島、タラワ環礁に加え、
下記地域の戦没者のご遺族からの申請を受け付けます。

- ・硫黄島
- ・インド
- ・インドネシア
- ・沖縄
- ・樺太
- ・旧ソ連等
- 旧ソ連、
- モンゴル
- ・タイ
- ・中部太平洋地域
- ウェーク島、ギルバート諸島、
- ツバル、トラック諸島、
- パラオ諸島、マーシャル諸島、
- マリアナ諸島、メレヨン島
- ・東部ニューギニア
- ・ノモンハン
- ・ビスマーク
- ・ソロモン諸島
- ・フィリピン
- ・ミャンマー
- (50音順)

※他の戦域も戦没
者遺骨の検体が
採取され次第鑑
定を実施します。

申請方法等詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

掲載先 戦没者遺族等への援護「戦没者遺骨のDNA鑑定」

URL:
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137645_00006.html

相談先電話番号 ※お迷いの方もまずはご相談ください。

03-3595-2219 (厚生労働省社会・援護局鑑定調整室)

令和4年度徳島県遺族会 主要行事予定

8月までに例年開催している主要行事の日程案です。
開催等は理事会にて決定いたしますのであくまで「参
考」としてご覧いただき、正式な行事日程等は理事会
決定事項をご確認ください。

※「大きな行事は少しでも早く知りたい」との要望が多
く寄せられるために掲載したもので、会として正式に
決定しているものではございません。

役員等研修会

日時：令和4年4月23日(土) 13:00 ~ 17:00

場所：徳島グランヴィリオホテル

ブロック研修会

西部地区：令和4年6月3日(金) 吉野川市アメリ
ティセンター

南部地区：令和4年6月4日(土) 阿南市文化会館

東部地区：令和4年6月5日(日) 徳島県護国神社
参集殿

※会場については、令和3年12月時点での予定です。

全国戦没者追悼式への参列

日時：令和4年8月14日(日) ~ 15日(月)

場所：日本武道館(東京) ほか

徳島県戦没者遺族大会

日時：令和4年8月24日(水) 13:00 ~ 16:00

場所：あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

遺族会の動き

令和三年十一月〜令和三年十二月行事

(十一月)

2日 徳島県護国神社例大祭(護国神社)

7日 日本遺族会青年部長会議(KKRホテル東京)

8日 日本遺族会支部長・事務局長合同会議(参
議院議員会館)

9日 日本遺族会女性部長会議(参議院議員会館)

上旬 沖縄「徳島の塔」慰霊参拝 ※中止

13日 語り部事業(戦没者記念館) ※延期

13日 父の像清掃・第3ブロック(徳島中央公園)

20日 千羽づる奉納事業(岡山県護国神社ほか)

26日 正副会長会(護国神社)

26日 戦没者記念館運営企画委員会(護国神社)

30日 令和3年秋の叙勲伝達式(徳島グランヴィ
リオホテル)

(十二月)

7日 厚生労働大臣表彰(厚生労働省) ※中止

11日 語り部事業(戦没者記念館) ※延期

13日 全国戦没者遺族大会(自由民主会館)

23日 厚生労働大臣表彰表彰伝達式(徳島県庁)

令和四年一月〜令和四年三月行事予定

※新型コロナウイルス感染症対策のため変更となる場
合があります。

8日 正副会長会(護国神社)

8日 語り部事業(戦没者記念館)

14日 第12回特別企画展(戦没者記念館)

26日 日本遺族会事務局長会議(参議院議員会館)

26日 日本遺族会女性部長会議(参議院議員会館)

28日 日本遺族会青年部長会議(参議院議員会館)

中旬 海外慰霊巡拝(台湾・パシフィック海峽) ※中止

(二月)

12日 語り部事業(戦没者記念館)

12日 日本遺族会青年部研修会(鹿児島県)

中旬 父の像清掃・第4ブロック(徳島市中央公園)

25日 理事・監事・評議員等研修会(護国神社)

(三月)

上旬 正副会長会(護国神社)

上旬 記念館運営企画委員会(護国神社)

12日 語り部事業(戦没者記念館)

25日 理事会(護国神社)

27日 春の靖国神社参拝(靖国神社他)